

こんにちは

庄内町議会

です



No.76
9月議会号
4.10.15



気分も晴れて

からふる
風来風流まつり

狩川まちづくりセンター

関連記事 P24

- ◆コロナ禍対策進む……………〈議案・補正予算〉 P. 2
- ◆交付税増 ………………〈決算〉 P. 4
- ◆検証して未来に生かす…〈決算特別委員会〉 P. 6
- ◆12人が町政を問う ………………〈一般質問〉 P.13
- ◆定例会を傍聴して……………〈アンケート結果〉 P.22

このように決めました

利用料金(種苗代金) 上限額の引き上げ

議案

9月 定例会



施設の安定経営に向けて 庄内町種苗センター

種苗センターの苗が値上がり
燃油及び育苗資材の価格の高騰並びに、庄内町種苗センターの利用数の減少による利用単位あたりの経費が増加しています。当該施設の利用料金の上限額を改定する必要がありますことから規定の整備を図るため、本条例の一部を改正するものです。令和5年4月以降の利用から適用されます。

利用料金の上限額

形態	旧		新	
	町民	町民以外	町民	町民以外
トレー	2,500円以内	3,100円以内	3,750円以内	4,650円以内
ポット	90円以内	110円以内	135円以内	165円以内



LEDで省エネ 響ホール

5 契約の相手方	アベ・余目特定建設工事共同企業体 代表者 鶴岡市小淀川字色田72番地の4 アベ電工株式会社 代表取締役 阿部 勝 庄内町余目字月屋敷219番3号 有限会社余目電気工事 代表取締役 齊藤 薫
4 契約金額	1億9800万円(うち消費税額1800万円)
3 工期	着工 議会議決の日の翌日 完成 令和5年3月27日
2 工事場所	庄内町余目地内
1 工事名	文化創造館大ホール舞台照明設備改修工事

契約案件
文化創造館大ホール舞台照明設備改修工事
請負契約の締結

会期

9月6日(火)から
20日(火)まで

令和3年度
各会計決算の認定
8件

令和4年度
各会計補正予算
6件

条例制定
4件

契約案件
1件

請願
2件

発議
1件

発委
2件

以上**24件**
原案どおり
可決

補正のポイント



今年は豊作か

肥料の価格上昇分を助成し、農業所得確保と経営継続を図るものです。
令和4年に作付した主食用品種のうち慣行栽培、特別栽培、直播栽培（一括管理の米転作含む）。10aあたり1000円。

稲作農業応援補助金

4033万円

令和4年度一般会計の補正は、収入支出それぞれ2億7080万円を追加し、総額12億5505万円となりました。主な支出は、新型コロナウイルスワクチン接種に関する委託料の5915万円、稲作農業応援補助金4033万円、生活困窮者世帯コロナ対応生活応援事業費576万円等です。



親身に対応

福祉係

4月1日から令和5年2月28日までの間に、社会福祉協議会より生活福祉資金の貸付を受けている世帯と、社会福祉協議会に対し生活困窮に係る相談を継続的に行っている世帯が対象となります。

生活困窮者世帯コロナ対応生活応援事業

576万円

576万円



ふるさと納税を積極的に宣伝し、納税額を増やすための広告費です。

広告料の追加

192万円

新型コロナウイルス感染症対策のための住宅の改築及び修繕等を誘導するとともに、町内における住宅の建設工事による地域経済の活性化を図るものです。

定住応援住まいづくり補助金

1035万円 (追加)

1035万円

※ 経常収支比率：この比率が高いほど経営余剰財源が少なく、数値としては70%～80%が理想とされている。

※ 公債費比率：一般財源に占める公債費の比率で、一般的には15%以上が警戒ラインとされている。

単年度収支 実質単年度収支

ともに

黒字

経常収支比率改善

一般会計

5年振り賛成全員で認定

令和3年度の一般会計は、コロナ関連の補正も加わり合併後最高となる計14回の補正予算を編成しました。過去最高額の令和2年度の決算額と比較すると収入は約20億5千万円の減額（▲13・0%）、支出は約21億8千万円の減額（▲14・4%）となりました。

※ 経常収支比率は、90・8%と前年度より7・2ポイントの減、公債費比率は6・5%と前年度より0・6ポイントの減となりました。

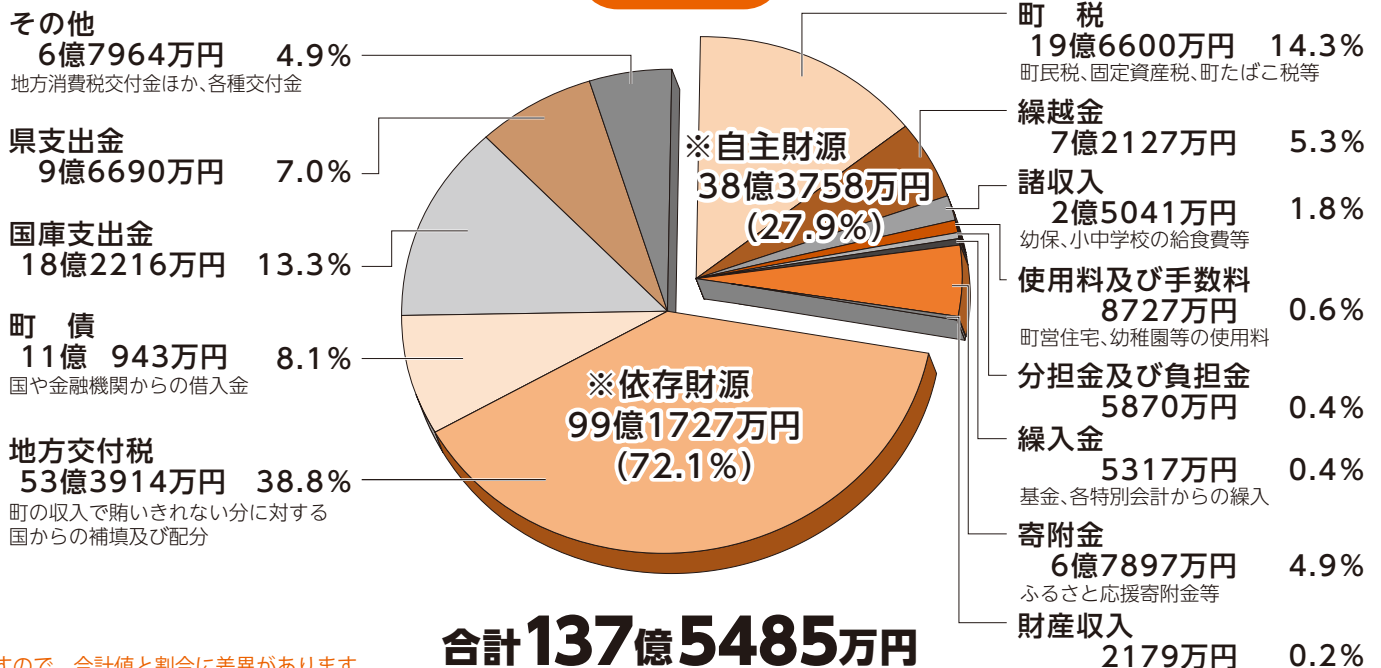
収入（歳入）

自主財源の根幹である町税は、法人税が増額したものの個人町民税で農業所得が大きく減額したこと等により前年度より減額となりました。

地方交付税は前年度より約3億4千万円増となりました。



収入



すので、合計値と割合に差異があります。

合計137億5485万円

※ 自主財源：町が自主的に収入する財源をいう。

※ 依存財源：国や県から定められた額を収入する財源をいう。

令和3年度 決算

コロナ禍 地方交付税増

特別会計・企業会計

全事業黒字決算

特別会計

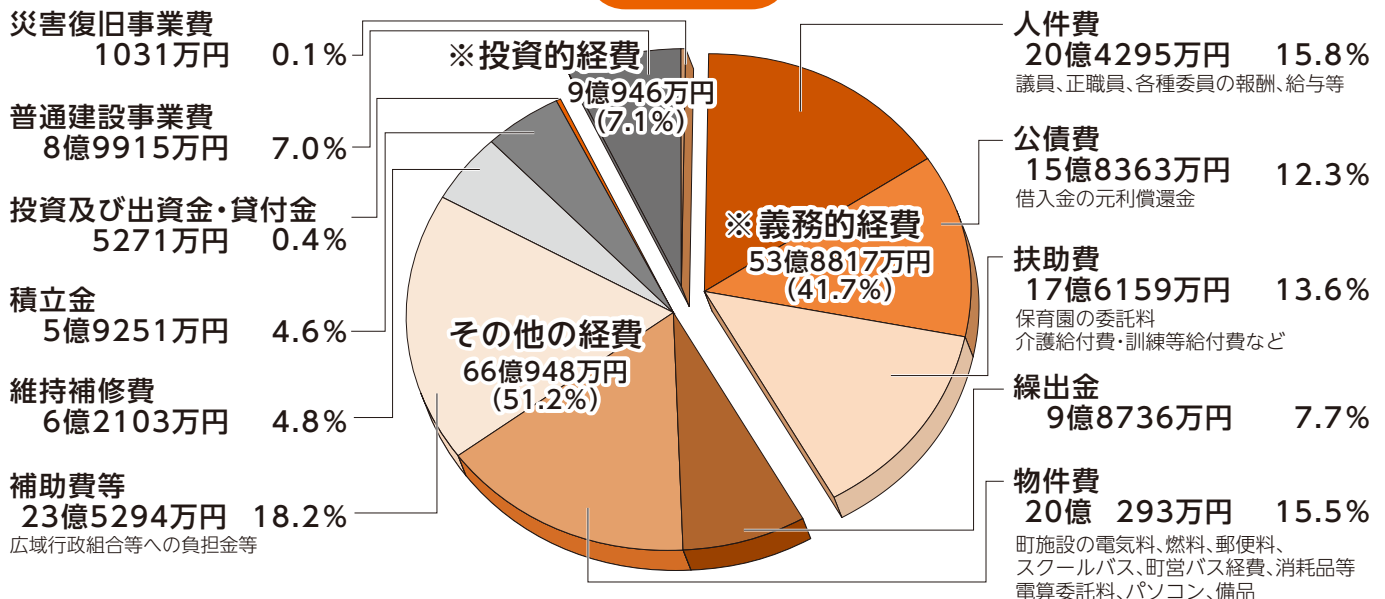
国民健康保険	〈収入〉 23億 2780万円	賛成 全
	〈支出〉 22億 3718万円	員
後期高齢者医療保険	〈収入〉 2億 6380万円	賛成 全
	〈支出〉 2億 6081万円	員
介護保険	〈収入〉 29億 5508万円	賛成 全
	〈支出〉 28億 3323万円	員
風力発電事業	〈収入〉 6461万円	賛成 全
	〈支出〉 5306万円	員

企業会計

水道事業会計 (収益的収支)	〈収入〉 5億 7892万円	賛成 全
	〈支出〉 5億 5966万円	員
下水道事業会計 (収益的収支)	〈収入〉 9億 6254万円	賛成 全
	〈支出〉 9億 2842万円	員
ガス事業会計 (収益的収支)	〈収入〉 4億 6905万円	賛成 全
	〈支出〉 4億 5732万円	員

支出(歳出)
義務的経費では、前年度より約3億2千万円の増額(6.4%)、投資的経費では約3億3千万円の減額(▲26.9%)となりました。
その他の経費で増加した主なものは、積立金で前年度より約1億8千万円の増額(43.3%)、維持補修費は約1億5千万円の増額(32.7%)等で、減少した主なものは補助費等約20億1千万円(▲46.1%)です。

支出



合計129億711万円

(各決算額を1000円台で四捨五入しています)

検証して未来に生かす

令和3年度 決算特別委員会

審査日 9月12日、13日、14日
一般会計、特別会計、企業会計
全8案件原案どおり認定



委員長 吉宮 茂
副委員長 石川 武利

決算特別委員会とは

議会が承認した予算が適正に執行されたかを審査し、その行政効果や経済効果を住民に代わって評価します。審査の結果は後年度の予算編成や行政執行に生かされます。

全通告内容の一部を掲載しています

No	委員名	担当課	発言内容
1	阿部利勝	農林課 建設課	・協力隊員と試験圃場の成果 ・町道草刈り区間を図面化して議会に提示できないか。視線誘導標の劣化 ・除排雪対策費
2	上野幸美	農林課 建設課	・庄内町おいしい米の里堆肥散布補助金 ・庄内町老朽空家解体支援事業補助金 ・庄内町住宅環境改善空家除却緊急支援事業補助金
3	石川武利	商工観光課 立川総合支所 建設課	・カートソレイユ最上川管理事業費 ・庄内町スポーツ文化合宿支援事業 ・北月山荘等管理事業費 ・定住促進空家活用住宅管理事業 ・若者定住促進助成事業
4	加藤将展	農林課 商工観光課	・林業振興事業 ・カートソレイユ最上川管理事業費
5	奥山康宏	農林課	・農林水産業費 ・農業再生対策事業 ・農業経営体活性化対策費
6	工藤範子	建設課	・除排雪対策費 ・生産性向上対策費 ・町営住宅維持管理費
7	スルタンヌール	商工観光課	・6次産業化事業の課題と解決 ・立谷沢川流域活性化センター「タチラボ」 ・地域資源を活用した特産品のブランド化の推進

産業 建設

記事は発言順に掲載しています。
全質問内容は議会ホームページの
中継録画で閲覧できます。



庄内町議会 HP

(太字を掲載)

建設

草刈り区間示せ

阿部 利勝 委員

問

町道の草刈りについての問い合わせも多く、雑草刈り区間を図面化し議会に提示できないか。

町長

今後製作し、議員全員に提出する。

吹雪時の安全確保を

阿部 利勝 委員

問

今冬の大雪でスノーボールの破損が多く見受けられたが、その後の対応はどうか。また、冬季間のみの木製紅白視線誘導標の設置基準はどうか。

町長

地域要望と、必要性の高い通学通勤路等から実施を図るよう努める。

農林

取組面積拡大へ

上野 幸美 委員

問

堆肥散布補助金は、散布組織への補助で、特別栽培米拡大を図る目的である。化学肥料の高騰もあり、取組の拡大を図るべきである。

町長

国のみどりの食料システム戦略の方針もあり、農畜連携を進めたい。



林道を整備せよ

加藤 将展 委員

問

国の森林環境譲与税を活用し

て、林道整備を図るべきではないか。

町長

ご提案を踏まえ、林道整備を進めて参りたい。



車も通れない

農業従事者の減少対策を

奥山 康宏 委員

問

令和3年度の経営転換協力金を受けた農家数は50戸にも及んでいない。相続の関係でこの補助金に該当ならなかった農家もあるといわれており、農業従事者数の減少に歯止めがかからない。

町長

経営転換協力金を受けて離農した農家は、大規模農家でないの、地域農業への影響は少ないものと思われる。

農業従事者の確保をどう考えているか。

商工

6次産業化事業の課題と解決

スルタンヌール 委員

問

本町の6次産業化事業の課題に対する解決の方向性、特産品ブランド化の推進はどうか。地域おこし協力隊とは連携しているのか。

町長

新産業創造協議会や地域おこし協力隊と連携している6次産業化実践者への伴走型の支援や、外部専門家によるノウハウを活用した地域ブランド創生業を取り組み、「地域が稼ぐ力」を生み出していく。



ここで何を作っているの クラッセ・6次産業化貸工房

総務・文教・厚生

全通告内容の一部を掲載しています

No	委員名	担当課	発言内容
1	工藤 範子	教育課 企画情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会費 ・小中学校教育振興費 ・育英資金貸付基金の運用状況 ・統計調査総務費
2	スルタン ヌール	教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の個別支援、教育活動を支援する事業等、いじめ対策事業情報共有は
3	渡部 伊君子	教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・就学指導事業費 ・ランドセルの色 要望取り入れよ ・教職員健診費
4	伊藤 和美	企画情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修費 ・男女共同参画推進費
5	加藤 将展	企画情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・町営バス等運行事業費
6	石川 武利	企画情報課 社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活支援事業費 ・指定管理維持管理費の利用増対策
7	上野 幸美	保健福祉課 社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者等相談支援事業委託料 ・特定不妊治療費助成事業 手厚い支援求む ・女性の衛生用品支援事業 ・社会教育事業
8	阿部 利勝	環境防災課 教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬場管理運営事業 ・鳥獣被害防止対策費 ・廃棄物適正処理推進事業費 ・幼稚園施設維持整備費
9	小野 一晴	総務課 企画情報課 総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度決算の総括 ・令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る成果 ・基金 ・学校適性規模・適正配置審議会

(太字を掲載)

教育

平和教育を行うべき

工藤 範子 委員

問

戦後77年の今日、ロシアによるウクライナ侵略の残虐行為が報道されている。教育委員会の定例会13回開催されているが、平和について話し合いはされたのか。

教育長

これまではなかった。今後教育委員会で話し合いを進めたい。



平和の像 穏やかな日々を

育英資金の増額を図れ

工藤 範子 委員

問

育英資金貸付基金運用状況はどうか。返還未済額62万円で、9月1日で約50万円の5人分のことだが、大学生の貸付は月額4万3千円で増額の予定はないか。

教育長

増額を含め見直しを検討する。

いじめ対策 連携を図れ

スルタン ヌール 委員

問

本町でのいじめ対策事業は対策及び連携強化について情報を共有したと報告があるが、令和3年度は会議が1回で委員など参加人数が3名となっている。この少ない参加数で連携強化と情報共有ができたのか。

教育長

3名の方は専門調査委員の方なので、専門的な見から助言を頂いている。連絡協議会についてはコロナ禍で中止をしているが、校長会や教頭会で情報共有をしている。

ランドセルの色 要望を取り入れよ

渡部 伊君子 委員

問

子育て支援の一環として、ランドセルの贈呈が行われている。ランドセルの色決めは、保護者、子どもの要望を取り入れるべきと考えるがどうか。また、子ども達を交通事故から守るための黄色帽子が廃止になったのはなぜか。

教育長

今後、保護者、子どもの要望を把握するため、調査して行きたい。黄色帽子は、夏は通気性が悪く暑い、冬は各自、ニット帽をかぶるなどするために廃止した。



くらし

ジェンダー

平等の実現を 伊藤 和美 委員

問

男女共同参画推進委員の男女比率はどうか。逆差別になっていないか。

町長

委員は7人中2人が男性。一般公募枠での申込みが少なかった。



みんなとともに

問

ジェンダーバイアスを取り除き「固定的な性別役割分担意識を解消し、男女共同参画社会の形成」を図るためには、子育て、地域活動、防災など他の事業と協働して事業開催ができたのではないか。

町長

出前講座を開催しているが関心度が低い。課題が多岐に渡るため、関連他課と連携し事業を推進していきたい。

※ジェンダー:生物学的な性別に対して、社会的・文化的につくられる性別のことを指す。世の中の男性と女性の役割の違いによって生まれる性別のこと。

※ジェンダーバイアス:「男らしさ」「女らしさ」などの男女の役割に関する固定的な観念や、それに基づく差別・偏見・行動などのこと。

路線図等の表記を見直せ

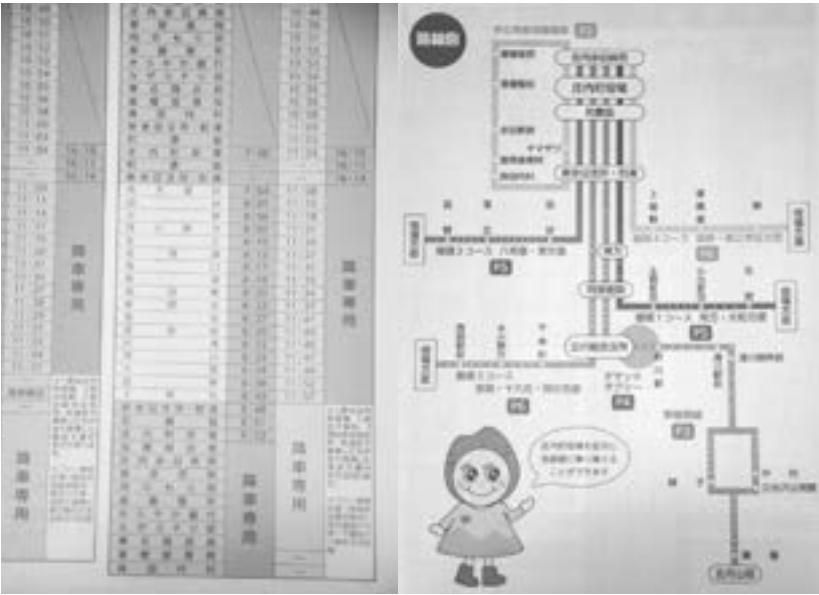
加藤 将展 委員

問 町営バスのダイヤが令和3年9月に見直されたが、利用客減少の路線について、その原因分析等を行っているか。また、路線図には全部の停留所、時刻表の降車専用路線

にも到着時間を記載し、路線図・時刻表は全戸配布すべきではないか。

町長 分析等はしていません。いなかったので今後行う。停留所や時刻表はご指摘の通り改善したい。全戸配布は予算もあり検討する。

分析等はしていません。いなかったので今後行う。停留所や時刻表はご指摘の通り改善したい。全戸配布は予算もあり検討する。



分かりづらいよね

婚活支援もつと周知を

石川 武利 委員

問 庄内町結婚新生活支援事業では、交付件数3件、交付金額が90万円とあった。これは、住居費や引越費用を補助するものですが、その効果はどうか。

新婚世帯からは大好評であった。また、移住促進にもつながった。

町長 新婚世帯からは大好評であった。また、移住促進にもつながった。

立川地域施設利用増の対策は

石川 武利 委員

問 令和3年度無人管理だった立川地域の施設に指定管理「こめっち」の職員が配置され利便性が図られた。立川地域の施設利用者増への対策はどうか。

健康教室など開を行い、交流人口拡大へつなげたい。

町長 健康教室など開を行い、交流人口拡大へつなげたい。



参加してみよう

福祉

不妊治療

手厚い支援求む

上野 幸美 委員

問 特定不妊治療費助成申請者は、晩婚化もあり増加している。令和4年度から、

助成内容や他の状況を調査し検討したい。

公的医療保険適用になったが、高額である。自己負担3割への助成等、県内初酒田市は新設した。検討してはどうか。

町長 助成内容や他の状況を調査し検討したい。



知っていますか

全通告内容の一部を掲載しています

特別会計
企業会計

No	委員名	担当課	発言内容
1	工藤 範子	税務町民課 保健福祉課	・国保 基金の運用 他 ・介護 決算の概要 他
2	上野 幸美	保健福祉課	・介護保険特別会計 任意事業 ・介護保険特別会計 社会保障充実事業
3	加藤 将展	企業課	・下水道事業（業務状況）雨水管理 内水ハザードマップを作成せよ ・各社会における有価証券運用
4	石川 武利	企業課	・水道事業広域化について ・ガス事業全般
5	奥山 康宏	企業課	・下水道事業
6	小野 一晴	環境防災課	・風車設備の現在と今後の見通し、基金 運用

(太字を掲載)

福祉

一人暮らしの
手助けはどうか

工藤 範子 委員

問

診療費の入院
件数は、125
0件であるが一人暮らし
で身寄りのない方の退
院後の手助けの方策は
どうか。

町長

国保ヘルス
アップ事業では、
生活習慣病や疾病等の
予防対策が中心である
ことから、取り組んで
いない。

虐待が増えている
要因は何か

工藤 範子 委員

問

高齢者虐待の
通報・相談は令
和2年度12件、令和3
年度18件、虐待認定数
は令和2年度8件、令
和3年度15件で増えて
るが主にどのような内
容か。

町長

虐待を受けた
高齢者が認知症、
あるいは虐待を行った
方が認知症または、精
神疾患を患ってるケー
スが多い。



笑顔のために届けます

認知症への
支援はどうか

上野 幸美 委員

問

任意事業は、
どんな事業か、
事業費は前年度の3.2倍
に増加している。内容
は何か。また、認知症
への支援事業も含まれ
るが、認知症の現状は
どうか。

町長

高齢者の安心
を維持するため
の事業である。家族介
護慰労金支給事業、徘徊
高齢者事前登録事業、
高齢者等安心通報事業
等が増加した。認知症
支援事業では、認知症
サポーター養成講座等
がある。認知症患者は
増加しており、地域社
会に広く理解を求める
内容になっている。



今日もおいしいよ

※内水氾濫:公共下水道等の排水施設などに、雨水があふれ出ることにより発生する浸水被害。

防災

ないすい
内水ハザード
マップを作成せよ

加藤 将展 委員

問

本県では河川の氾濫に加え、内水氾濫が深刻な被害をもたらした。今年7月に全戸配布された本町のハザードマップには、内水氾濫の被害想定は全く記載されていなかった。国は内水ハ

ザードマップを令和7年までに各自自治体で作成するよう通知していたが、企業課が入手し、環境防災課、建設課は見ていなかった。町は防災意識を高め、これを早急に作成し、防災対策に活用すべきではないか。

町長

今後は、建設課が中心となり、関係課と連携を取り、内水ハザードマップを作成することとした。



リスク増す内水被害

環境

汚泥の
有効活用を

奥山 康宏 委員

問

農業集落排水から発生する汚泥については、昨今の化学肥料の高騰により、



必要とされる有機肥料

有機肥料としての必要性が見直されている。汚泥の活用状況については、どうなっているか。

町長

現在、農業集落排水から発生する汚泥については、全量コンポストとして有効活用している。

町営風車
そろそろ幕引きを

小野 一晴 委員

問

風車が稼働して20年が経った。耐用年数も20年ということ、年々修理費も高んでいる。旧立川町で始まった全国初の自治体による風力発電事業が、これまでの国内の風力発電

推進の呼び水となったことは高く評価する。これまでの売電収益を蓄えた基金が解体費を差し引いても1億円程残る段階で幕引きをしようか。残額はゼロカーボンシティー推進の財源に充てたらどうか。

町長

検討してみた。



一基だけでがんばってるね

町民の暮らしやすさの追求 12人が町政を問う

一般質問
9月7日～9日



庄内町議会HP

12人26項目の質問（●印を掲載）



進む稲刈り

- 吉宮 茂議員
 - 庄内たがわ農協新余目支所の土地建物の売却と町湯の関連について…………… P 14
 - ふるさと応援寄附金について…………… P 14
 - 渡部 伊君子議員
 - 若者の町政への関心と青年議会の開催について… P 14
 - 猫の去勢避妊手術、マイクロチップ装着について…………… P 14
 - 奥山 康宏議員
 - 中学校における行事について…………… P 15
 - 保育園・幼稚園の運営について…………… P 15
 - 町道の維持管理について… P 15
 - スルタン・ヌール議員
 - 人口減少・少子化対策と子育て支援について…………… P 15
 - 上野 幸美議員
 - 旧学区・地区公民館の指定管理者制度導入について… P 16
 - 自治会（行政区）の編成について…………… P 16
 - 工藤 範子議員
 - 子育て支援について…………… P 16
 - 排水対策について…………… P 16
 - 専門職の在り方について…………… P 16
 - 五十嵐 啓一議員
 - 集落町道の側溝整備について…………… P 17
 - 小学校の登下校の安全確保について…………… P 17
 - 石川 武利議員
 - 地方公務員の65歳定年制について…………… P 17
 - 休日の部活動の地域移行について…………… P 17
 - 社会的に生活が困難を有する方々への対策について…………… P 17
 - 伊藤 和美議員
 - 庄内町における子育て支援の現状と総括について…………… P 18
 - 防災活動への女性の登用と参画について…………… P 18
 - 加藤 将展議員
 - 政府による奥羽西線の存続・廃止の検討開始について…………… P 18
 - 余目市街地及び狩川市街地の大型車の走行被害について… P 18
 - 余目市街地の集中豪雨時の雨水被害がハザードマップ上に表記されないことについて…………… P 18
 - 阿部 利勝議員
 - 第一学区の学童保育について… P 19
 - 小野 一晴議員
 - 図書館建設工事について…………… P 19
 - 物価高騰対策について…………… P 19
- （齋藤秀紀議員は欠席により掲載なし）

梵天の土地売却

どうなる 町湯・プール事業

町長 今後もしつかり交渉したい



よしみや しょう 吉宮 茂 議員

町長

土地売却を決議したことを受け、町としては町湯の営業に支障がないよう農協側へ再三申し上げている。町にとって有効な土地であり、今後もしつかりと交渉していきたい。

町湯の源泉、駐車場の確保は最優先である。土地の借用または所有することについては、弁護士や県と相談・確認をしていく。

プール事業は、10月2日の終了を予定している。引き続き水泳を続けたいという方々には、近郊のスクールへの入会を案内させていただいた。

問

庄内たがわ農協の総代会に於いて、新余目支所の土地・建物の売却を決議している。

対象となる物件内には、温水プール、町湯の源泉、駐車場などがあり、一方的に進められる当事者同士の売却交渉次第では、町湯の経営存続を左右しかねないものである。今一度、庄内たがわ農協と町が将来的観点に立って意見交換を行うべきでないか。

特に町湯の源泉、駐車場の確保について、温水プール事業の今後についてどう考えるか。



いい湯でした 町湯

若者の町政に関心を

若者の「議会」を開催すべき

町長 仕組みを検討したい



わたなべ いくこ 渡部 伊君子 議員

町長

「みんなが主役のまちづくり基本条例」の具現化に向けた取り組みの一つとして、平成26年度から3年間「高校生・大学生議会」を開催したが、人集めなど苦労した経緯があった。今後、どのような形で町民の声を町づくりに反映させることができるかが重要である。新しい時代の発想は若い人たちが中心になっていくものと思う。ワークショップや懇談会、意見交換会なども含め集められる仕組みについて検討させていただきたい。

問

公職選挙法の一部改正に伴い、選挙年齢が満18歳以上に引き下げられ、主権者教育が進んでいる。

本町での18〜20歳の投票率は26%台と、他の年代より低い。

若者の町政への関心を高めるため、若者の育成や活躍の場をつくるための環境づくり、若者の力、意見を取り入れた町づくりが求められている。

子どもや若者を対象とした「子ども議会」「少年議会」「青年議会」を開催すべきと思うが、どうか。



将来なりたいな

町道の管理

維持管理をしつかりと

町長 パトロールを実施している



おきやま やすひろ 奥山 康宏 議員

問

車社会における町道の役割は、町民生活に大きく寄与している。しかし、昨年の大雪により、道路の補修を必要とする箇所が散見される。

また、町道の土手の草刈りについても作業機で草刈りをしている道路と、していない道路がある。稲作農家におかれては、カメムシ被害も危惧される。

町道において、定期的なパトロール、補修調査は実施されているか。

町長

町道の管理延長は非常に長いので、全ての箇所を常時点検することには限界はあるが、道路維持管理人によるパトロールにより、道路や安全施設等の日常点検を行っている。また、建設課において、河川やのり面等の点検と一緒に、月

1回道路をパトロールしている。更には、住民の方々からの通報による現地確認や建設課の所管する事業等の立ち会いなどの機会を捉え、町道のパトロールを実施している。



毎日がんばっています

人口減少 少子化対策

新たな取り組みは

町長 必要な支援は検討したい



スルタン・ヌール 議員

問

他市町村の人口増の成功例を参考にすることはあるか。

U-IJターン、県外・町外の若者のカップルを呼ぶための支援やPRは計画どおり進んでいるか。第1期と2期は、ほぼ同じ事が継続している。未だ解決されていない少子化対策の新たな取り組みはないのか。

町長

「住みたい田舎ベストランキング」で本町が240自治体中16位であった。それより上位を参考にしている。

問

従来の支援に加え地方創生臨時交付金を活用したU-IJターン補助金制度を創設し、県外からの若者移住定住を図っている。

「出会い支援サービス事業」への登録、更新に対する補助金交付金事業「庄内町出会い応援事業」等も行っている。

教育長

新たな補助教材費への支援は考えていない。給食に関する何らかの支援は必要との認識は持っている。



ようこそ庄内町へ

地区公民館
指定管理者

組織の剰余金を認めて

町長 課題を含め検討したい



議員 上野 幸美

問 指定管理者制度 導入のまちづくり

センターでは、委託料の施設管理運営費が、組織の努力によって削減できた場合、地域還元のため剰余金にできるのか。

町のガイドラインでは、「繰り越された残額は、次年度における財源とする」とあるが、次年度委託料から減額されるのか。努力によって生じた剰余金は、地域の活動の広がり、組織のやる気につながる。地域に活用できる自由度のある財源として、認められないか。

町長

節減した部分については有効に活用されてしかるべきだとは思いますが、ガイドラインは、次年度に繰り越し、なおかつ、自由に使えるといった仕組みになっていない。そういった課題を含め、今後、検討することになると思っている。

行わない事業が生じ、予算が余った場合、全く別の事に活用するのは難しいと思うが、施設管理の部分で、町民のために有効的なことができるということであれば、相談いただきたい。



ぜひ、ご利用ください 第二まちづくりセンター

給食費

無料化、来年度は実現せよ

町長 ニーズを掴み進めたい



議員 工藤 範子

問

町長就任されて、早や一年が経過した。

チェンジを掲げて「子育て帯や移住者を選ばれる豊かなまち」のなかに「給食費の無料化をします」とある。このことを期待し一票投じられたことを重く受けとめるべきではないか。積算をしたら約一億円必要なので財政状況を見ると、これまで答弁してきたが、子育ては他町村も進んでいる。先進自治体を参考にし、是非、令和5年度からは実施すべきではないか。

町長

公約として掲げている以上、任期中ということが前提になる。給食費の無料化以外にも多様なニーズにもそれぞれ対応する必要がある。その優先順位も含めて考えていく。教育委員との総合教育会議の中で意見交換を行う

っている。結論に至っていないが、給食に対する支援が必要という方向性は一致している。10月下旬に総合教育会議を予定している。引き続き意見交換するとともに保護者のニーズを掴みながら進めていきたい。



みんなで食べるとたのしいね

子どもたちの安全確保

スクールバス利用拡大を

教育長

危険性を考慮し、検討したい



いがらし けいち 議員
五十嵐 啓一

問

スクールバス利用には、登校する集落から学校までの距離により基準化されている。しかし、適用外の登校班でも交通事情が危険な通路や、冬期間歩道の除雪が困難な箇所や地吹雪などで登下校が危険と判断されれば適用されている。

現況の登校班は子どもたちの減少や気象状況の変動により厳しい猛暑のなか登下校している。保護者からは子どもたちの安全と健康確保のため通年のスクールバス利用を望む声が大きくなっているが町の考えは。

教育長

教育委員会や学校では、生きる力を養い、自立を促すには徒歩通学が重要と考えており、子どものたくましさ、登校班による思いやりの気持ちを育てる機会などを奪うことがないよう、特例期間以外は自らの足で登校してほしいと考えている。

町では、スクールバスの運行管理に関する規則を定めており、この規定の中で必要などころには臨時運行を出している。

危険箇所があれば再度点検し、危険性が認められれば、臨時運行ということも考えたい。



また、あした

生活困窮者対策

まずは、相談して

町長

課題解決に向け一緒に支援



いしかわ たけとし 議員
石川 武利

問

最近、働きたくても仕事がない、家族の介護、再就職に失敗、社会に出るのが怖いなどにより、日常生活が大きく変化し、社会的に生活が困難になる方が増えつつある。

町では「生活困窮者自立支援制度」活用し対応にあたっている。この制度は現金給付もあるが、相談支援が中心となっている。就労による自立への支援を希望する方が中心となっている。本町における生活困窮者の実態と今後の対策について町の考えはどうか。

町長

令和3年度の相談者数は実人数が148名、延べ相談回数が1016回になっている。さらに相談を受けての対応としては1000件である。なお、同じ方が何回か相談にお出でになっている。

本町では、社会福祉協

議会が設置している福祉総合相談センターに対し生活困窮の相談を業務委託している。必要に応じて県や、県から業務委託を受けている「生活自立支援センターさかた」と連携し、課題解決に向けて一緒に考え支援している。



迷ってないで相談して

子育て支援

一年の総括と質の高い教育とは

町長 共通理解を持ち、改善・充実を図っていききたい



伊藤 和美 議員

問

新町長になり約一年。児童発達支援センター機能や地域子育て支援拠点の運営など本町の子育て支援の現時点での総括はどうか。また、コロナ禍において子どもをめぐる相談は多様化しているが、相談しやすい場所の工夫や人材の育成、研修を行っているか。

町長

今年度、児童発達支援係を創設し「保育所等訪問事業」と「相談支援事業」の機能をワンストップで対応できるようにした。

子育て支援センターは総合的な総合窓口と位置付けており、各部署と連携して対応している。

支援センターは国の方面でも支援拠点と位置づけられており、毎年、研修等も開催している。

問

「こどもの幸せ」「こどもにとつてどうか」の視点で質の高い保育・教育を保育関係

者だけでなく、当局も共通理解をもって主体的・組織的、協同的に取り組む環境はあるか。

町長

「保育の質」と「確保・向上に向けた取り組みを関係者が共通理解を持ち、主体的・継続的・協同的に改善・充実を図っていききたい。」



いっしょに遊ぼう

大型トラック規制

大型トラック侵入を規制せよ

町長 町としても協力していききたい



加藤 将展 議員

問

東一番町では住民要望により陸羽西線代行バスは、迂回路運行となった。現在、駅から茶屋町を通っている代行バスについて、町は迂回路運営をJRに申し入れる用意はあるか。

狩川の街中でも、大型トラックの走行による振動や騒音被害が自治会から報告されており、住民の苦情も寄せられている。これは交通公害であり、夜間、大型トラックの街中への侵入を規制するよう、町は自治会長等に帯同し、関係省庁への申し入れをすべきではないか。

町長

代行バスの迂回については、東一番町での経過を踏まえると、JRへの相談から最終的な判断までかなりの時間を要するようだが、区長等からご要望があれば、町を通してお伝えすることに協力していきたい。

狩川の当該路線は主要地方道黒立川線となっている。町は交通制限をできる立場でないが、状況については公安委員会に相談をしていくとともに、地域で要望される場合には、町としても協力をしていきたい。



大型トラック通ります

学童保育

学校内設置を

町長

余裕教室等は無く、現状は難しい



あべ としかつ 議員
阿部 利勝

町長

小学校の余裕教室や特別教室を活用することがより良い選択と捉えているが、第一小学校には余裕教室等は無く難しい。

県道加茂線の速度制限については、現状、時速50キロ制限であり、警察のパトロール等が行われ

ていること、また、余目第一小学校通学路交通安全対策連絡協議会で話題となっていないので、要望には至っていない。

なお、信号付近のカーブについては、非常に危ないため、昨年度、通学路交通安全対策協議会で県の方に要望を出している。

問

平成30年に厚生労働、文部科学両省は、学童保育を新設する場合は小学校の使っていない余裕教室や図書室など特別教室の活用を促すとした。

第一学区の場合、設置

場所が家根合集落で、中心市街地から小学校より遠く、学校内で行なえないかとの要望があるが、どのように考えているか。また、県道加茂線は交通量も多く、一部ガードパイプが設置されているが学校までの延長、及び40キロ速度制限を要望すべきでないか。



のどかでいいところだが

図書館 建設工事

積極的に関われ

町長

真摯に受け止め対応



おの かず はる 議員
小野 一晴

町長

町は発注者であり、町民の大切な税金を預かり実施している事業である。受注した業者側に遅延に関する責任があるとすれば、損害賠償請求を含め、検討していかなければならないと考える。

ご提案いただいた元請、

問

工期に大幅な遅れが出ている。今後も地元業者に優先的に仕事をしていただくためにも結果責任は取ってもらわなければならないが、できると納税者に説明できない。

これ以上遅れないためにも、元請と下請けや設計との調整に町が積極的に関わりトータルコーディネートすべきではないか。役場本庁舎を建設する際に役場本庁舎整備課を設けずで実施している。是非継承していただきたい。



いつ、できるの

請願 採択 2件

**「消費税インボイス制度の
実施中止を求める意見書」
を政府に送付すること**

請願者

消費税廃止鶴岡田川地区各界連絡会

酒田民主商工会

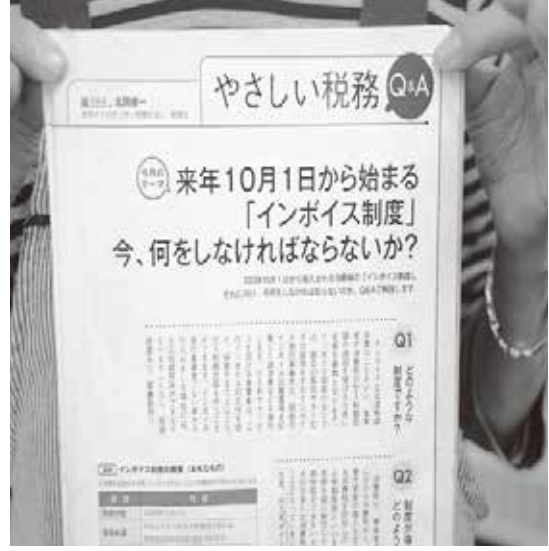
会長 菅原 健一

会長 渡部 実

国に対する意見書 ※抜粋

2023年10月からインボイス制度（適格請求書等保存方式）が実施されようとしてい

る。インボイス制度が実施されれば、個人の建設業、中小事業者、農業者や各種フリーラ



重い足かせ

ンスの事務や消費税負担の増加につながる。

会員にインボイス発行を求めるのが困難なシルバー人材センターなど、現行での課税事業者の多くも制度の導入により税負担が増え、業者間での不公平が生じることが予想される。また、消費税の免税事業者に新たな負担を強いる制度は、コロナ禍から再起を図る事業者の重い足かせとなる。

インボイス制度は、業界団体や税理士団体なども「中止」「凍結」を求めている。以上の趣旨から意見書を提出する。
(賛成多数で可決)

1 消費税インボイス制度の実施は中止すること。

提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 経済産業大臣



転作協力農家へ打撃

「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家への支援策強化

を求める請願

請願者

庄内農業農民運動連合会

会長 小林 隆範

国に対する意見書 ※抜粋

政府は、深刻な米価下落対策を十分に行わないまま、昨年11月19日、新たに26万トンの主食米生産量を削減する計画を発表し、また、

「水田活用の直接支払交付金」の見直しを明らかにした。その内容は、2022年から2026年の5年間に一度も作付けをしなかった水田は「水田活用の直接支払交付金」の対象水田から外すというもので、これが実施されれば、永年作物や牧草地利用など、転作に協力してきた農家への打撃は計り知れない。以上の趣旨から意見書を提出する。

1 「水田活用の直接支払交付金」の見直しは行わないこと。また、自給率が低い戦略作物、農産物に対する交付金・支援策を充実させ、すべての農業経営の安定を図ること。
(賛成全員で可決)

提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 農林水産大臣

マスコミの一連の報道を受け 全員協議会で説明

8月23日

奥山康宏議員から、一連のマスコミ等も含めて報道された内容について、説明したい旨の申し出があり、全員協議会で発言していたべくこととなりました。また、議会運営委員で協議をした結果、質問は代表質問にとどめるとし、副議長より2点、質問することになりました。

奥山康宏議員発言 (要旨)

私が8年前に上司の決裁を受けずに行った住宅ローン抵当権解除につきまして、さまざまな方面の方々にご迷惑をおかけしたことに關し、深くお詫び申し上げます。

新聞報道に書いてあることは事実でありませんが、具体的な内容につきましては守秘義務も課せられておりますので、私の方からお話することはできません。議員になる前に勤務していたJAからは、すでに処分を受けております。改めて今回のことを日々深く反省しており、この教訓を議員活動に生かして

まいりたいと思っております。

質問事項

1. 庄内たがわ農業協同組合より懲戒解雇された事実を公表せず、立候補した理由について
2. 今後議員として町民に対してどのように説明していくのか

質問1への答弁

懲戒解雇の処分については、JAの臨時総代会で氏名は伏せられましたが、ほぼ私であると思われるところがある

り、立候補後に敢えて公表はしなかったということですが、ただし、後援会では説明、お詫び申し上げ、後援会活動を継続いたしました。

質問2への答弁

今後、後援会等でのミニ集会やグループ等へ説明してまいりたいと思っております。

※マスコミ取材では「選挙に影響が出るという思いも少しあり、公表できなかったのは私の心の弱さ」との答弁あり。

今後の行動を見守りたい

議長 石川 保

奥山康宏議員が、JA庄内たがわの融資担当職員時代に關わった事案については、町内外から様々な反応があり、実名報道された8月3日以降は、「公職のままでいいのか」などの意見もありました。

そのような中、8月23日に開催した全員協議会で、住宅ローンの抵当権を不正に解除したのは本人であると認めた上で、「様々な方に迷惑をかけた」として陳謝するとともに、「日々深く反省し、この教訓を今後の議員活動に生かしたい」との発言がありました。

このことを受け、法律の専門家に相談するとともに、議会運営委員会でも検討していただき、議長として、次のような対応したいと思います。

- 1 庄内町議会議員政治倫理条例は議員活動に關しての基準であることから、議員になる以前のことについては、審査対象とはしない。
- 2 ミニ集会や会合などで必要に依り説明していくとの意向が示されており、奥山議員の今後の行動を見守ることとした。

○ようこそ議会傍聴へ(アンケート等)



9月定例会を傍聴して(要約・抜粋)

町長へ

- ・町長の答弁の話し方がはっきりしてすぐ聞きやすく、わかりやすかった。
- ・町の説明がわかりやすい。

議員へ

- ・議員の質問の内容でも情報を集めて質問しているのがよかった。
- ・初めて議会傍聴にきました。一時間ギリギリまでの議員の質問にびっくりしました。議員さんも一生懸命取り組んでくださったことがわかりました。いい経験になりました。
- ・議員さんが自分の質問に対して一生懸命調査して伝えていることがわかった。
- ・こんな町に変えたいとの思いの声を聞かせてもらいたい。信念を持った質問をお願いします。
- ・新人の議員さんの質問の内容がわかりやすかった。
- ・国から補助、町の支給内容をよく把握してから質問をするべきではないか。
- ・新しい議員さんががんばれ!
- ・全体的に詳細な質問で分かりやすい。

議会全体へ

- ・質問と答弁の食い違い説明不足が多い。
 - ・議場のシーンとした雰囲気よかった。
 - ・女性議員が多く大変良いバランスに近づいたと思います。
 - ・初めての議会傍聴でしたが、身近な事なので大変よかったです。
 - ・町の事が詳しくわかって良かった。
 - ・職員の答弁は議員の質問に対し、出来ない事を言うのではなく、町民の声として受け止め、前向きな答弁をしてほしい。智恵をだして課題にチャレンジしてほしいと思います。
 - ・請願第2号の委員長報告についての質疑がおかしいと感じた。まったく議論がみ合っていない。実のある議論になるよう制度を見直すか議員のみなさんにももっと勉強してほしい。
 - ・別の角度から町を見つめる事でできるとおもうので、もっと大いに傍聴等ができれば良いと思います。
- ### その他の意見
- ・民生児童委員のなり手不足の解消のための議論を、適切なアドバイスをお願いします。

議場設備について

- ・ハッピーバスは、各集落で一か所停留するが、廿六木のように大きい集落は2か所でもいいのではないか。
- ・農業問題(減少)は後継者不足の問題、実情を捉えた町の取組が必要だと思う。
- ・傍聴席の音響が聴き取れない。
- ・バックグラウンド的な音で良いので音響設備を左右2か所に設置してはどうか。
- ・議場内の照明がもう少し暗くても良いのではないか(節電)。
- ・女子トイレのゴミ箱を手洗いの方に移したらどうでしょうか。
- ・席順の氏名をお願いしたいです。
- ・議場内のスピーカーからの高音(ピーピー)が耳障りです。

議会より

多くの皆様よりアンケートにご協力いただきありがとうございます。
今後より良い町政を目指し、議員各位が切磋琢磨していきたいと思います。
これからも皆さんからの多くのご意見をお待ちしております。

傍聴者は合計 **43**人でした。短時間の傍聴も可能です。

マスクの着用をお願いします。

各常任委員会も傍聴できます。

庄内町議会
ホームページから
生中継や録画を
閲覧できます。



議会中継サイト

アンケート集計結果 (40人中)

① 傍聴にきてよかった	37人
② 勉強になった	21人
③ おもしろかった	3人
④ 緊張感があった	15人
⑤ 議会は頑張っている	17人
⑥ 町の動きがわかった	19人
⑦ 議会のやりとりがわかった	35人
⑧ 議会のやりとりがわからない	3人
⑨ 質問の趣旨がわからない	1人
⑩ 答弁が適切でない	3人
(複数回答)	人

次回定例会は、

12月6日(火)～13日(火)

予定です。

令和4年9月定例会 傍聴者数

6日(火) 議案等審議	1人
7日(水) 議案審議、一般質問	3人
8日(木) 一般質問	28人
9日(金) 一般質問	5人
10日(土) 11日(日) 休会	
12日(月) 決算特別委員会	0人
13日(火) 決算特別委員会	1人
14日(水) 決算特別委員会	1人
15日(木) 各常任委員会	0人
16日(金) 各常任委員会	0人
17日(土) 18日(日) 19日(月・祝) 休会	
20日(火) 議案等審議	4人



町民のために、議員一同がんばって参ります

生声ひろば

からふる
風来風流まつり
狩川まちづくりセンター

気分も晴れて



めっこいの〜 ダンス・スタジオ・ファンタジー

今日（8月28日）は、狩川まちづくりセンターで「からかわ風来風流まつり」がありました。3年ぶりの開催なので、行ってきました。「風来風流」と書いて「からふる」と読むのだそうです。「風が運ぶ色とりどりの季節」という意味を込めたそうです。

カーも来て、多くの町民の方が楽しんでいました。

「ぶっかけ！ やばちーぞ大会」に参加していた余目第一小学校2年生の石川心陽ちゃん、佐藤朱莉ちゃんにインタビューしました。



かっこいいでしょ

問 ずぶぬれになったね。
答 「きがえもってきたからだいじょうぶだよ」（心陽ちゃん）

問 一番たのしかったのは何ですか。
答 「やっぱり水かけがおもしろかった」（心陽ちゃん）

答 「わたしも。なんかスッキリした」（朱莉ちゃん）

問 来年も来ますか。
答 「まだわかんない」（朱莉ちゃん）

答 「来年もやるんだったら、来たい」（心陽ちゃん）

（心陽ちゃん）

朝方の雨も止んで、すっかり晴れ上がり、子どもたちは夏の風を体いっぱいと感じながら、それぞれの楽しみ方を見つけたようです。ふと足元を見れば、氷たまりはカラフルな彩りに輝いていました。（將）

花き提供

庄内町花き振興会より議場に生花を提供いただきました。

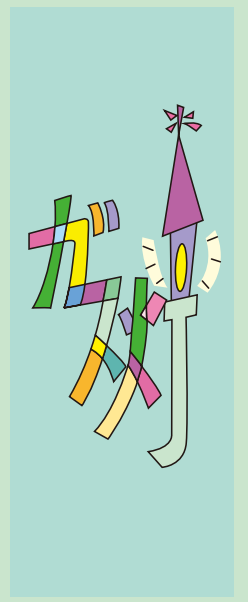


志を持って

立ち向かう

小さいころ、父は「今あるものに満足すれば豊かな気持ちになれる」とよく話していた。大人になってわかったことだが、これは老子の言葉で「知足者富、強行者有志」の前の段の言葉であった。後段は「（満足するだけでは十分でなく）志を持って努力せよ」という意味で、これが大事らしい。

また、新人議員の活躍を見て、地域活性化や開かれた議会を目指して、志を同じくする者たちがもつと力を合わせて頑張らねばと思っています。（加藤將展）



発行人

議長 石川 保
議会広報常任委員会

- 委員長 阿部 利勝
- 副委員長 加藤 將展
- 委員 スルタンメール
- 委員 渡部伊君子
- 委員 奥山 康宏
- 委員 伊藤 和美